

平成 27 年度第 2 回地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 議事要旨

日時 平成 27 年 7 月 9 日(木) 13 時 58 分から 15 時 35 分

場所 加古川市立青少年女性センター 4 階 大会議室

出席者(委員) 森脇委員長

石橋委員

鈴木委員

新田委員

傍聴者 1 名

会議次第 1. 開会

2. 議題

(1)平成 26 年度業務実績に関する評価について

(2)平成 26 年度財務諸表等に対する意見について

3. その他

4. 閉会

5. 事務連絡

配付資料

資料 1 : 地方独立行政法人加古川市民病院機構平成 26 年度決算概要

資料 2 : 平成 26 年度業務実績報告(小項目 第 4・第 5)【暫定評価との対比表】

資料 3 : 平成 26 年度の業務実績に関する評価結果書(案)

資料 4 : 平成 26 年度財務諸表の確認について

資料 5 : 地方独立行政法人加古川市民病院機構平成 26 年度財務諸表等

1. 開会	開会の宣言
2. 議題	<p>(1) 平成 26 年度業務実績に関する評価について</p> <p>評価に入る前に、「平成 26 年度決算概要」について、資料 1 に基づき法人から説明を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの法人の取組の成果が、利益剰余金として表れたものである。</li> <li>・新病院が開院すると、減価償却費などの経費の増加が見込まれるため、引き続き収益確保に努めていただきたい。</li> </ul> <p>法人から大項目第 4 と第 5 について自己評価のポイントを説明した後、質疑応答及び議論を行い、小項目評価を決定した。</p> <p><b>【大項目】第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <p><b>【中項目】1 経営基盤の強化</b></p> <p>暫定評価            評価：3、ウエイト：①  法人自己評価       評価：3、ウエイト：①  評価委員会評価   評価：3、ウエイト：①    決定</p> <p><b>【中項目】2 収益の確保及び費用の節減</b></p> <p>暫定評価            評価：3、ウエイト：  法人自己評価       評価：4、ウエイト：  評価委員会評価   評価：3、ウエイト：       決定</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療報酬の算定漏れ等をなくす対策を行ったことは評価できるが、それが標準とも考えられる。</li> <li>・500 床以上の黒字の公立病院の平均的な経常収支比率が 102%台という結果と比較すると、更に上の目標を掲げて頑張っていただきたい。</li> </ul> <p><b>【大項目】第 5 新統合病院の整備に向けた取組</b></p> <p>暫定評価            評価：3、ウエイト：①  法人自己評価       評価：3、ウエイト：①  評価委員会評価   評価：3、ウエイト：①    決定</p> <p>(主な質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新病院の建設について、物価スライドや着工後の仕様変更、また医療機器の進歩に伴う最新の機器購入費など、予算を追加する必要があるのか。</li> </ul> <p>(法人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度の中期計画を変更した際に、物価スライドや仕様変更、移転後の医療機器の必要金額も見込んで予算を増額したため、現在の中期計画の範囲内で対応できると考えている。</li> </ul>

	<p>「平成 26 年度業務実績に関する評価」における大項目評価について事務局から説明した後に、評価委員会で質疑及び議論を行い、大項目評価を決定した。</p> <p><b>【大項目評価】</b> 第 2 から第 5 までの大項目評価を全て「A」と決定 (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者の増員、休床の再開、人事評価制度改革など、並々ならぬ努力で剰余金を出したことは評価できるが、色々な面で今は「過程」にあると考える。まだまだ努力する余地がある。</li> <li>・新病院を開院しても病床を全て稼働できていない病院もあるなかで、西市民病院が休床病床を再開させ、新病院の 600 床稼働に向けた体制が整いつつあることを評価したい。</li> <li>・前年度を約 2 億円上回る黒字ということは大変評価できるが、給与費比率が 50%を超えている状況は少し高いのではないか。</li> </ul> <p>(2) 平成 26 年度財務諸表等に対する意見について</p> <p>財務諸表の確認方針に基づき、適法性及び表示内容の適正性の観点から、財務諸表及び添付書類は適正であることを事務局で確認したことを報告し、委員から了承を得た。</p> <p>(地方独立行政法人法第 34 条第 3 項の規定に基づく評価委員会の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>(主な質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医業未収金が多いが、その内容は何か。また、返戻(査定減)はどのくらいか。</li> </ul> <p>(法人回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者への請求は約 2 カ月後に入金されるので、2 月分、3 月分の保険請求分が未収金となり、大半を占める。</li> <li>・返戻(査定減)は加古川西市民病院が約 0.2%、加古川東市民病院が約 0.3~0.5%であり、全国的にみると数値は低い方である。</li> </ul>
3. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員満足度アンケートの結果について、法人から説明があった。 (主な意見) 今後組織として注力すべき項目を絞り込むなど個々の意見に対する分析を行い、また、経年比較分析や対策の実施に努めてほしい。</li> <li>・委員から、業務実績報告書の作成においては、小項目単位で次期に送った課題を挙げ、その課題に取り組むことによりどのように財務諸表の数値に影響するか等もわかるような記載をお願いしたいとの意見が出された。</li> </ul>
4. 閉会	閉会を宣言

※「主な意見」には、欠席委員からの意見を含む。